

# 創造と安全について

## ～ 公立劇場・ホールの舞台技術者が果たす役割とは～

主催：財団法人 静岡県舞台芸術センター／社団法人 日本芸能実演家団体協議会 共催：公共劇場舞台技術者連絡会

### ～ 舞台技術研修会のご案内 ～

(財)静岡県舞台芸術センターでは、専用の劇場と稽古場、専属の俳優と専門技術スタッフを擁して、舞台芸術作品の創造・上演・紹介、また舞台芸術を担う人材の育成を事業目的とし、1995年の設立から活動を続けてきました。前年度より、公共劇場舞台技術者連絡会(※)に加盟し、舞台芸術創造の現場において、更なる専門技術・知識の発展、また、安全作業に関わる意識の向上を目指し、この度、社団法人日本芸能実演家団体協議会のご協力により、以下の内容を催すこととなりました。舞台芸術に携わる専門技術者の立場より、現状の舞台芸術創造現場における諸課題に対し、活発な議論が繰り広げられる場にしたいと考えております。お忙しい折、恐れ入りますが、皆さまには是非ご参加賜ります様、ご案内申し上げます。

(※) 舞台技術部門を有する全国の公立文化施設の劇場・ホール又は施設を運営する法人で組織し、公立の劇場やホールで舞台芸術を支える舞台技術者が連携して各劇場間の諸問題の調査研究や情報交換、研修を通して、製作及び公演の円滑な進行管理と安全確保、技術的専門性の確立を目的とする。

▶ **日 程** 2010年6月1日(火)10:30～16:00

▶ **会 場** 静岡芸術劇場 アクセス詳細 <http://www.spac.or.jp/access.html>

### ▶ **プログラム内容**

**受付開始** 10:00～

**第一部** 10:30～11:45

◎技術研修 静岡芸術劇場の仕込みの実際 (宮城聡 演出作品「ペール・ギュント」仕込み図と現状確認)

**第二部** 13:00～14:15

◎公開鼎談 「公立劇場・ホールにおける舞台芸術の創造と人材育成について」

宮城 聡 (財団法人静岡県舞台芸術センター芸術総監督・舞台演出家)

伊藤久幸 (財団法人新国立劇場運営財団 技術部長)

大和 滋 (社団法人日本芸能実演家団体協議会 芸能文化振興部長)

※登壇者については変更の可能性がございます。ご了承ください。

**第三部** 14:30～16:00

◎シンポジウム 「地域からの創造発信と創造現場の安全確保について」  
～劇場等演出空間の運用及び安全に関するガイドラインをもとに～

パネリスト

眞野 純 (神奈川県民ホール館長・公技連会長) 毎熊文崇 (富山市芸術文化ホール 舞台技術課長)

馬場道雄 (まつもと市民芸術館 技術監督兼副支配人) 樋口正幸 (SPAC創作・技術部照明班)

關 秀哉 (株式会社 RYU代表取締役社長) 他 公共劇場舞台技術者連絡会代表委員

進行：村松厚志 (SPAC創作・技術部主任)

**閉 会** 16:00

▶ **参加費** 無料(要予約)

### ▶ **お申込・お問い合わせ**

2010年5月25日(火)までに、Eメールにてお申込ください。

件名を【公技連研修会申込】とし、本文に【①お名前 ②所属・勤務先 ③ご連絡先電話番号・メールアドレス

④ご質問等連絡事項】を明記の上、下記のメールアドレスまで送信してください。

**財団法人 静岡県舞台芸術センター** 〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4

TEL 054-203-5730 MAIL [mail@spac.or.jp](mailto:mail@spac.or.jp) WEB <http://www.spac.or.jp> (担当：制作部 成島・植松)